

# 団体記載例①(先端技術の活用、田畑のフル活用)



## 「ディスカバー農山漁村の宝」応募用紙（団体用）

都道府県名（必須）	〇〇県	市町村名（必須）	〇〇市
-----------	-----	----------	-----

団体名（必須）	〇〇〇〇
---------	------

### 1. 団体の概要（必須）

設立年 平成〇年〇月〇日

組織

部署	概要
〇〇部	●〇〇課 ●〇〇課 〇〇指導、〇〇事業、〇〇の斡旋等を行う〇〇事業
〇〇部	●〇〇課 ●〇〇課 ●〇〇課 ●〇〇課 〇〇等の製造
〇〇開発センター	〇〇の製品開発
〇〇管理部	●〇〇課 ●〇〇課 品質管理、お客様相談窓口、〇〇の検査

構成員  
〇〇 〇名、〇〇 〇名、〇〇 〇名、〇〇 〇名

### 2. キャッチフレーズ（必須）

自然と技術ではぐくむ、スマート〇〇

### 3. 活動のきっかけ（必須）

平成〇年に〇〇県の〇〇場が経営中止することを知り、単身で移住。地域農業の将来を見据え、〇〇などの技術に着目し、地域資源と組み合わせることで持続可能な産業づくりを取り組み始めることに。高齢化や人口減により地域農業の維持が課題となる中、農地や地域資源を次世代へ引き継ぐため、農場を借りて、この新しい取組を〇〇規模で〇〇経営を開始した。

### 4. 取組概要（必須）

自社ブランドの「〇〇」と「〇〇」を中心に、循環型農業を実践している。AIによる〇〇システムを導入し、データに基づく〇〇管理の効率化や省力化を推進しつつ、地域資源を活かした持続可能な生産により、安全で高品質な食を消費者へ届けている。

### 5. 取組の具体的内容及び成果（効果）（必須）

**【デジタル化】**

- ・〇〇を導入し、〇〇から〇〇へ規模拡大し、創業〇年目で、〇〇トップに達した。これまで蓄積したノウハウや管理手法を地域の生産者へ共有し、産地全体の〇〇や〇〇体制の強化に貢献している。
- ・建物の規模や形状、〇〇センサーや〇〇器の規格や位置も全て統一。〇〇に必要なデータをデジタル化・見える化し、管理マニュアルを作成。アーカイブ化した作業・技術記録を管理者全体で共有、現場の状況や数字はスマートフォンやタブレットでリアルタイムに把握することで、誰もが同じレベルで〇〇ができる体制を築き、欠品率が〇%から〇%へ低下し、契約出荷の履行率が〇%から〇%へ向上した。これにより、経験の浅い人でも従事しやすい環境を整備し、地域の担い手確保や雇用創出にもつなげている。

**【AI解析】**

## 団体記載例①(先端技術の活用、田畑のフル活用)

・AIによる生育・環境データ解析を導入し、施肥や換水、出荷時期の最適化を実現した。収量〇%、品質〇%向上しつつ、作業負担を〇%削減した。また、得られた知見を地域の生産者へ共有することで、産地全体の栽培技術の向上や新規就農者の参入促進につながっている。

・AIを活用した〇〇予測システムを導入し、〇〇による被害〇%軽減、農薬使用量〇%削減を実現した。地域内の生産者や関係機関とデータを共有し、産地全体の体系的生産や持続可能な農業の推進につなげている。

### 【植物工場】

・独自の〇〇技術とノウハウで「高歩留・高収量・高回転」を達成し、生産量〇%向上を実現した。これにより安定した出荷体制を構築し、地域産品の供給力向上や生産者所得の向上に貢献している。

・独自の〇〇システムにより栽培環境を均一化し、オリジナル養液により収量が〇%向上した。また、天候に左右されにくい栽培モデルを確立し、地域農業の持続性向上や新たな担い手の参入促進につなげている。

・〇〇大学との共同研究により、光・養液・温度などの環境制御技術に、〇〇学に基づく〇〇を融合し、高収率・高栄養の優れた〇〇の安定生産を実現し、糖度〇度から〇度、A級品率〇%から〇%向上した。さらに、研究成果を地域へ発信することで、新たな栽培技術の普及や地域農業の付加価値向上に貢献している。

・AI制御により、気圧・温度・湿度・光量を常に最適化し、安定した育成環境を維持する〇〇システムを構築した。これにより、管理作業時間を年間〇時間から〇時間へ削減、規格内率〇%から〇%へ達成した。その成果を地域の生産者や関係機関と共有することで、スマート農業の普及や地域全体の生産性向上に貢献している。

### 【陸上養殖】

・AI/IoTにより魚の状態や水温・溶存酸素等の変化を読み取り、自動・遠隔操作で飼育環境の最適化や給餌・掃除を行うシステムを開発した。さらに、〇〇技術や〇〇設計により、飼育環境を維持し、エネルギーコストを〇%削減した。これにより持続可能な養殖モデルを確立し、地域への技術展開を通じて水産業の生産性向上や担い手不足の解消に貢献している。

・養殖環境の効率化と〇〇を組み合わせ、〇〇な特性を持ったゲノム編集魚を導入し、単位面積あたりの収益を〇倍へ。高収益な養殖経営モデルを実現することで地域漁業者の所得向上につなげるとともに、新たな地域産業の創出に貢献している。

・〇〇システムでは、バクテリアを活用した独自の〇〇技術により最低限の換水率で水を循環させながら養殖を行っている。これにより、〇〇コストが不要になるため、〇〇代を大幅に削減した。また、水資源の有効活用と環境負荷の低減を実現し、持続可能な地域水産業の発展に寄与している。

・〇〇では、海水を一切使わず、独自の〇〇システムで〇〇を行うことで、魚病の原因になる海水からのウイルスや細菌の侵入がないため、対処するための抗生物質を使用せず年間出荷量が〇%向上し、安定生産が可能に。これにより安全・安心な水産物の安定供給を実現するとともに、地域ブランドの価値向上や販路拡大による地域経済の活性化に貢献している。

### 【田畑のフル活用】

・小区画で作業効率が低かった農地にて、基盤整備事業により大区画化や用排水路の整備を実施した。あわせて農地の集約化を進め、大型機械による効率的な営農を可能とし、作業時間を〇%、生産コストを〇%削減した。担い手への農地集約率は〇%から〇%へ向上し、農地内の農地利用率も〇%から95%を超える水準となった。これにより耕作放棄地の発生を抑制し、地域農業の維持・発展に大きく貢献している。

・遊休農地や作付けされていない期間に着目し、水田の二毛作化や畑地の周年栽培を推進している。農地ごとの特性に応じて複数作物を組み合わせることで、農地を年間通じて有効活用する体制を構築した。その結果、農地利用率は〇%から〇%へ向上し、年間作付け面積は〇倍に拡大した。農業所得は〇年間で〇%増加し、新たな雇用創出や担い手確保にもつながった。また、地域内の遊休農地を解消し、景観保全や防災機能維持など、多面的機能の発揮にも貢献している。

### 【循環型農業】

地域内で発生する〇〇のふん尿や農産物残渣を堆肥化し、新たな〇〇を開発。圃場に還元することで、資源を循環させる農業を実践。〇〇により化学肥料の使用を抑えつつ土壌の改良を進め、安定した収量と品質を確保している。あわせて地域内での資源活用を推進することで、環境負荷の低減と持続可能な産地づくりを実現している。

## 6. 活動実績 (必須)

## 団体記載例①(先端技術の活用、田畑のフル活用)

項目	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込み)
〇〇飼育数	匹	30万	40万	46万	50万	55万	60万
	解説:						
売上(〇〇)	円	6500万	7000万	8000万	1億	1億	2億
	解説:						
売上(××)	円	500万	1000万	1000万	2000万	2500万	3000万
	解説:						
雇用	人	6	8	9	10	11	12
	解説:						

### 7. 活動の主な変遷 (必須)

初年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込み)
〇〇の修繕・改築	〇〇システム導入 コロナ対策として〇〇強化	女性雇用開始	〇〇トップの〇〇数到達 「〇〇」の商標登録	〇〇をたい肥化 B級品活用商品開発	台湾視察受け入れ(輸出事業)	新たな〇〇開発計画

### 8. 今後の展開 (必須)

- ◆データの精度が向上してきており、温度、湿度、水や餌の給与、体重などのデータを集積し、複数パターンを〇年間繰り返すなかで最適値が見えてきた。〇〇の導入から〇〇までを〇日から〇日に短縮、今後は〇日に安定させることが目標。
- ◆〇〇を出荷して搾汁された〇〇の搾りかすを飼料・餌に転化するとともに、搾汁された柑橘の皮を化粧品に転用するなど、さらにブランド力を高めるような取組を検討。  
将来的にどんどん鶏舎を増やしていただくだけでなく、移住の方や地元の人と一緒に取組をして、皆でやっつけられるのが理想。
- ◆〇〇を資源として循環させ、〇〇を地域内で再利用することで、循環型農業を産地全体に展開。あわせて〇〇や〇〇との連携を強化し、〇〇と〇〇の両立を図る生産体制を構築する。地域資源を強みに、〇〇を〇〇に転換し、持続可能な産地づくりを実現していく。
- ◆女性の視点を活かした「〇〇」や「〇〇」のブランド戦略を構築するため女性消費者に訴求する商品企画やデザイン制作に女性を登用。〇〇など、女性目線の社会的ニーズやトレンドを反映した商品開発に取り組み、令和〇年に販売開始。顧客展開には、女性が中心となって商談会に参加し、女性らしさをいかした営業トークやプレゼンを展開。高いコミュニケーション能力で、新規顧客の獲得や信頼関係を構築しており、自社の販売戦略に欠かせない存在となっている。

### 9. 活動状況がわかる写真、効果を示す図表 (必須)

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">写真・図表等</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">写真・図表等</div>
( )	( )

## 団体記載例①(先端技術の活用、田畑のフル活用)

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">写真・図表等</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">写真・図表等</div>
( )	( )
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">写真・図表等</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">写真・図表等</div>
( )	( )

<b>10. 表彰等の受賞歴</b> (該当あれば)	
表彰名等 (受賞年度)	主催者
〇〇年度農林水産祭 天皇杯(〇〇部門)受賞	〇〇〇〇省

<b>11. 活動に関するPR・エピソード</b> (自由記入、写真等添付可)
<p>◆デバイスの運用は、ロールモデルを確立し、〇〇を形成したうえで他社と共通条件で競争したいと考えている。自分たちだけでは限界があるため、将来的には、自社農場に見学コースを備え、都市部の人にも来てもらい、実態や魅力を伝えたい。</p> <p>◆創業当初から、〇〇の処理など〇〇対策の課題があり、かつて〇〇の産地だったが、相次ぐ撤退で耕作放棄地が増えていた。「いかにコストをかけずに〇〇を活用する場所を確保するか」を考え、〇〇農家〇戸から農地〇haを取得し、〇〇を利用した〇〇の栽培へ挑戦。合計〇〇本を定植し、〇〇栽培を開始した。栽培した〇〇は「〇〇」と命名し、令和〇〇年に商標登録した。〇〇町のブランド商品として、〇〇で販売。また、〇〇株式会社と連携して、〇〇の販売を開始。</p> <p>◆視察受け入れを積極的に行っており、年間〇件、延べ〇人を受け入れた。視察内容をSNSや動画を通じて配信し、〇〇の普及にも取り組んでいる。〇〇の魅力を広めるため、地域の魅力や取組内容を紹介する資料や撮影スポットを整備し、視察参加者による SNS での情報発信を促進している。これにより、地域の認知度が向上し、視察受入件数が年間〇件から〇件へ増加、SNS総閲覧数が〇万回以上、SNS 投稿をきっかけとした問い合わせ件数が年間〇件から〇件に増加した。</p>

<b>12. 応募いただいた連絡先に、今後、農水省より各種施策等に関する情報をお知らせする場合があります。希望する場合は右の□に✓をご記入ください。</b>	情報を希望する <input type="checkbox"/>
--	-------------------------------------